

2025年度(第59次)研究助成応募状況

2025年度(第59次)研究助成は、募集を1月12日に締め切ったところ39件の応募がありました。応募の内訳は下表のとおりです。

本事業は「広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等」分野の常勤研究者および大学院生を対象に研究助成を行うものです。助成金の給付のほか、助成対象者が利用できる消費者調査を実施します。提出された研究成果は審査の上、優秀な研究に「助成研究吉田秀雄賞」を授与します。

自由課題と指定課題を募集し、今年度は以下3点の指定課題を設定しました。

- ①消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
- ②広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究
- ③心と身体に関するマーケティング研究

応募数(前年度比)

| 常勤研究者 | | 大学院生 | | 総数(前年度比) |
|-------|-------|-------|-------|----------|
| 33 | | 6 | | 39(-5) |
| 継続研究数 | 指定課題数 | 継続研究数 | 指定課題数 | |
| 24 | 16 | 1 | 3 | |

2025年度の助成対象研究は、下記のメンバーによる選考委員会を経て3月の理事会において決定されます。

| | | |
|--------|--------|-------------|
| 選考委員長 | 嶋村 和恵 | 早稲田大学教授 |
| 選考副委員長 | 清水 聡 | 慶應義塾大学教授 |
| 選考委員 | 青木 貞茂 | 法政大学教授 |
| 選考委員 | 阿久津 聡 | 一橋大学大学院教授 |
| 選考委員 | 井上 哲浩 | 慶應義塾大学大学院教授 |
| 選考委員 | 岸 志津江 | 東京経済大学名誉教授 |
| 選考委員 | 久保田 進彦 | 青山学院大学教授 |
| 選考委員 | 里村 卓也 | 慶應義塾大学教授 |
| 選考委員 | 澁谷 覚 | 早稲田大学大学院教授 |
| 選考委員 | 白井 美由里 | 慶應義塾大学教授 |
| 選考委員 | 田中 洋 | 中央大学名誉教授 |
| 選考委員 | 吉見 俊哉 | 國學院大學教授 |

指定課題の内訳

| 応募数 | 部門 | 件数 | 指定課題別件数 | |
|-----|---------|-----|---------|----|
| 19件 | 常勤研究者の部 | 16件 | 指定課題① | 7件 |
| | | | 指定課題② | 5件 |
| | | | 指定課題③ | 4件 |
| | 大学院生の部 | 3件 | 指定課題① | 3件 |
| | | | 指定課題② | 0件 |
| | | | 指定課題③ | 0件 |

Editor's Note

起 業家の方を何名も取材させていただいて気付いたことがある。皆さんがすごいエネルギーをお持ちだけでなく、毎日時間を極限まで有効に使っていることも、共通していた。自分では到底真似できないことだ。(緑豆蒜)

特 に推し活をしているわけではないのですが、好きなものを説明しているときに「ひょっとして〇〇推し?」と言われることも。結局それをきっかけに興味が高まったので、「推し活」が、探求への扉を開いてくれました。(葡萄)

私 にも緩やかな推しがいまです。リアルタイムで超長編ドキュメンタリーを観る感覚に近いですが、ナレーション等で解釈を押し付けられることがありません。自分なりの文脈で堪能できるのが、格別です。(ひろた)

人 の趣味嗜好は星の数ほどあり、楽しみ方も人それぞれだと思います。他人には理解されにくい趣味や嗜好も、「推し活」という言葉が理解の一助となったケースもあるのだろうと今号の取材を通じて感じました。(みずさわ)

AD STUDIES 2025年3月25日号 通巻91号
公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
〒104-0061
東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル11階
TEL : 03-6264-1208 FAX : 03-6264-1228
URL : <https://www.yhmf.jp>

発行人 岩下 幹
編集長 小林球一
編集部 岩本紀子、沓掛涼香、小島康平
編集協力 プレジデント社
表紙デザイン 八木義博+藤田将史、中谷晴子(Creative Power Unit)
撮影 片村文人

本文デザイン 南 剛(中曽根デザイン)
校正 株式会社ヴェリタ
印刷・製本 大日本印刷株式会社

©公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
掲載記事・写真の無断転載を禁じます。